

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

経営理念

医療イノベーションを実現し、医療分野での社会貢献を果たす

iPS創薬市場規模  
6.1兆円再生医療国内市場  
2.5兆円再生医療世界市場  
38兆円

## ② 中長期の経営戦略

## 1. iPS創薬と再生医療のハイブリッド展…

iPS創薬事業と再生医療事業を同時展開し、事業リスク分散と技術共有により各事業の活性化を図る

## 2. From Basic to Clin…

慶應義塾大学医学部の基礎研究成果を直接事業活動に活用

## 4. ライセンスアウト推進

複数開発パイプラインのライセンスアウトで収益化と資金確保を図る

## 3. From Rare to Commo…

希少疾患から一般的な病気への研究開発の展開

## ③ 対処すべき課題

## ① 研究開発の推進

- ・ ALS向けロピニロール塩酸塩の第Ⅲ相試験準備推進
- ・ 脊髄損傷の企業治験に向けた大量培養法・GMP対応等の検討
- ・ CDMO選定と製造体制の整備

## ② 優秀な人財の確保

- ・ 採用活動推進による人材確保
- ・ 適切な人事考課の実施
- ・ 高度な専門性を持つ研究人員の継続確保

## ③ 法令遵守と資金確保

- ・ 内部統制の基本方針に基づいた管理体制強化
- ・ 直接金融・間接金融による幅広い資金調達
- ・ 複数パイプラインのライセンスアウト推進

## 面接で使えるポイント

- ・ iPS細胞を活用した神経疾患治療で、2040年に世界市場6.1兆円のiPS創薬事業に挑戦
- ・ 脊髄損傷再生医療では慶應義塾大学との共同研究で4症例の臨床研究完了し企業治験へ進展
- ・ ALS治療薬ロピニロール塩酸塩の第Ⅲ相試験準備で患者への治療法提供を目指す

証券コード 4896

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに  
有効な治療法が確立していない神経難病に対する医薬品および再生医療等製品の研究・開

主力事業・セグメント  
・医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）  
・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高  
－（未開示）

営業利益率  
－（未開示）

財務健康度  
22点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 51.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
909万円

医薬品内 30位/80社

平均年齢  
45.9歳

医薬品内 30位/80社

平均勤続  
3.6年

医薬品内 67位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 株式会社ケイファーマ：2026年12月期第1四半期決算説明会

